

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定（試行事業）  
**試行事業病院総合医養成プログラム 年次報告書**

2014年8月13日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

理事長 殿

以下に記載した内容で、貴学会の試行事業における病院総合医養成プログラムとして認定を更新していただけますよう申請いたします。

プログラム責任者署名（自署）菅原 斉

<b>1. プログラム名称</b>			
自治医科大学附属さいたま医療センター総合医プログラム			
<b>2. プログラム責任者</b>			
プログラム責任者氏名	菅原 斉	学会会員番号	
所属・役職	自治医科大学附属さいたま医療センター総合診療科長・准教授		
所在地・連絡先	住所 〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1丁目847番地 電話 048-647-2111 FAX 048-648-5188 E-mail hsmdfacp@omiya.jichi.ac.jp		
連絡担当者氏名*・役職	加計正文 教授・副センター長・卒後臨床研修室長		*プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載
連絡先	電話 048-647-2111 FAX 048-648-5188 E-mail mkakei@jichi.ac.jp		
<b>3. 最近1年間のプログラムの概要</b>			
<p>・研修者の感想や、アピールポイントをお書きください</p> <p>当プログラムへの応募者は見られなかった。          当総合診療科への後期研修応募者は1名で年間130症例以上の入院患者を担当し外来研修も初年度から行った。総合診療だけでなく救急部研修も行い、途中からは救急スタッフ業務も担えるようになった。また興味深い症例として脾動静脈ろう-脾静脈シャントによる二次性門脈圧亢進症から高アンモニア血症を来し意識障害を起こした症例について学会発表を行った。</p> <p>総合診療科の到達目標として、①患者さん、家族の頼りになり、感謝される総合診療科、②病院総合医にとっても遣り甲斐のある総合診療科、③地域の医療機関、自分たちの病院、専門診療科からも頼りにされる総合診療科であることを掲げている。</p> <p>我々のめざす総合医は、「患者さんに最良のマネジメントを提供できるように適切な判断ができる医師」である。総合医には、特定の疾患や疾病に偏らない医学の幅広い分野の基礎的知識・技能・態度に加えて得意とする専門分野がある。総合医は、自分自身の臨床能力の向上に生涯努力し、後進の育成にも最善を尽くす。総合医は、自分で解決できる疾患・病態と専門医の協力が必要な問題点について適切な判断を下す。「最良のマネジメント」とは、保健・医療・福祉・介護制度の枠組みの中で、思考力、判断力、医療情報、医療技術を駆使して患者さんの主要な訴えを少しでも改善し、患者さんの生活を支えるための方略である。</p> <p>当施設では年間400例以上の入院症例を有し原因不明で紹介される患者の割合も2割を超える。またマルチプロブレム患者を多く経験することで1年間にほとんどすべての科の疾病を有する患者をマネジメントする能力を磨くことができる。</p>			

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

4. 過去2年間の実績		
2012 年度	新規研修開始者数	0名
	研修修了者数	0名
2013 年度	新規研修開始者数	0名
	研修修了者数	0名

5. 現在のプログラム研修者該当者数（研修休止中の者を含む）							
1年目	0名	2年目	0名	3年目	0名	4年目	0名

6. プログラムにおける指導医 主たる施設における指導医以外の、関連病院の指導医は氏名の下に施設名を記載			
氏名	卒業年	専門分野・資格	専門分野・資格
加計正文	1977年	糖尿病学会 糖尿病専門医	糖尿病学会 研修指導医
		老年病学会 指導医	
小山信一郎	1981年	内科学会 総合内科専門医	アレルギー学会 指導医
		呼吸器学会 指導医	
菅原 斉	1985年	PC学会連合学会指導医	老年病学会 老年病専門医
		内科学会 総合内科専門医	循環器学会 循環器専門医
渡辺恭孝	2003年	内科学会 総合内科専門医	呼吸器内視鏡 専門医
		呼吸器学会 呼吸器専門医	埼玉県緩和ケア研修指導医
石井 彰	2004年	PC学会連合学会指導医	内科学会 総合内科専門医
		埼玉県緩和ケア研修指導医	
渡辺 珠美	2002年	PC学会連合学会指導医	日本内科学会総合内科専門医
		がん治療認定医	

7. 施設・診療科診療実績概要			
病床数	608床（内総合診療部門定床 19床）		
総合診療部門外来患者実績	初診	約 80人/月	再診 約 360人/月
総合診療部門入院患者実績	平均	約 35人/月	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

8. 診療実績 研修者 1 人平均経験症例		
急性期一般病床入院	約	症例
集中治療室 (ICU)・HCU 入院症例	約	症例
外来継続診療症例	約	症例
看取り症例	約	症例
委員会活動実践事例	約	症例
教育実践事例	約	症例
研究実践事例	約	症例

9. 診療実績 研修者一人平均経験症例 領域別  
 症例数不明の場合は、おおよその割合を記載してください

研修領域	症例数もしくは割合	主な疾患名
心疾患系	約 症例	
	約 %	
呼吸器系	約 症例	
	約 %	
消化器系	約 症例	
	約 %	
代謝内分泌・血管系	約 症例	
	約 %	
神経系	約 症例	
	約 %	
腎泌尿器科系	約 症例	
	約 %	
リウマチ性・筋骨格系	約 症例	
	約 %	
皮膚	約 症例	
	約 %	
耳鼻咽喉科	約 症例	
	約 %	
その他	約 症例	
	約 %	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

**10. 研修者の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、具体的に）**

月1回の振り返り、ポートフォリオ記載のサポートを行う。

外来診療は、mini-Clinical Evaluation Exercise (mini-CEX)短縮版臨床評価表で評価する。

入院診療について、退院要約の記載内容を形成的に評価する。

学会での症例発表、症例報告の執筆する。

研修2年目に日本内科学会認定内科医試験に合格すること。

各診療科の指導医、病棟師長、病棟医長に形成的評価を依頼する。

**11. プログラムの質の向上・維持の方法**

日本プライマリ・ケア連合学会主催の指導医講習会に最低年1回参加する。

研修医からのプログラム評価によって、プログラム内容の改善に取り組む。

他の家庭医療後期研修プログラム実施医療機関との意見交換をおこなう。

その他、お気づきの点やご意見等ありましたら下記にお書きください